

特別支援学級 国語科学習指導案

1 題材名 「ね、ぼくのともだちになって！」

2 題材の展開にあたって

教材のよさ

本題材は、「ね、ぼくのともだちになって！」という物語をパネルシアターやペープサート、劇化にしながら、言葉を広げ、絵ばなしを作っていくものである。つまり、物語の場面の様子を、ものや登場人物の切り絵を動かしてパネルシアターやペープサートで表したり、劇化したりした後、あらすじをさし絵や簡単な書きことばで、「おはなし絵本」に表していく表現活動である。

この物語は、子ども達に身近な小さなねずみが、友だちを求めて動物たちに出会っていくお話である。ねずみが、子どもの好きな馬・わに・ライオン・かば・さる・くじゃく・きつね・カンガルー・きりん・ねずみ・へびの順に次々に「ね、ぼくのともだちになって！」と語りかけていく。その中で、ねずみと動物が、どんな会話をしたのかを想像したり、しっぽだけを見てつぎの動物をあてたりするのも、この絵本を読み進めるおもしろさがある。友だちを求めて、会話をする場面が繰り返されており、とらえやすく簡単なストーリーとなっている。また、各場面で、登場人物とものとの関係を取り出して切り絵で表現したり、動作化や「おはなし絵本」にしたりして表現していくことができやすい。

パネルシアターは、物語の中から切り絵で登場人物やものを取り出し、物語絵に対応させて切り絵を貼りながら物語の筋を追っていきけるよさがある。

ペープサートは、切り絵を操作しながら、登場人物やものをつないで物語の場面の動きや変化をとらえるよさがある。

劇化は、お面をつけて登場人物になって動作化することにより、物語の場面の動きを体感することができ、ことばを広げるよさがある。

お話の続き作りでは、自分の好きな動物の場面を選んで、各自が自由な絵ばなしを作らせることにより、物語のお話の内容を広げ、楽しむことで物語に親しむよさがある。

「おはなし絵本」作りの活動は、挿し絵やことばを物語の筋にそって並べていきながら、パネルシアターやペープサート、劇化の過程で広げたことばを深めていくことができるよさがある。また、場面相互につながりが生まれ、話に広がりが見られるようになり、各場面の関係付けができるようになる。

子どもの実態

1年生1人(A児)、2年生1人(B児)、3年生3人(C児・D児・E児)、4年生3人(F児・G児・H児)、5年生1人(I児)、6年生1人(J児)の計10人で構成されている。言葉の習得の段階は、単語レベルの子どもから、文を書き始めようとしている子ども、単語の明記や助詞が不確かだが、文を書こうとする子ども、印象に残ったことを羅列的に並べて二～多語文で書く子ども、一人で簡単な文が書ける子どもと様々である。これまでの経験で、日常生活の中で習慣的に繰り返されている動き、生活場面の中で体感している事柄については、少しずつ言葉と結びついている。学習に取り組む姿は、友だちがすることが気になり、なかなか集中できない子ども、やり方がわかると意欲的に取り組む子ども、自分なりに目標を持って学習を進めることができる子どもと様々である。詳しい個別の実態は、次の通りである。

	読む	書く	伝え合う
A児 1年	平がなは、五音程度読むことができるようになってきている。絵本の読み聞かせは、喜んで聞いている。	自分の名前、体の部位など、一・二音節の単語をなぞり書きしている。	印象に残ったこと、質問されたことに単語で伝えようとする。日常繰り返し行う会話は、一語文で伝える。
B児 2年	平がなの清音は、ほぼ読むことができる。本が好きで、自分で本を選び絵を見て楽しんでいる。読み聞かせると、繰り返しの台詞を覚えて発話しようとする。	平がなの清音は、一音ずつ書くことはできるが、まだ一人で単語を書くことは難しい。	体験したことを、自分なりに伝えようとするが、発語が不明瞭なため、聞き取りにくい。単語をつなぐ段階の言葉で、思いを伝える。

C 児 3 年	粗筋をつかみ、お話を楽しむことができる。繰り返しの台詞を発語は不明瞭だが、覚えて言おうとする。	平がなを使って二語文程度は一人で書けるようになってきた。しかし、まだ助詞の使い方は不確かである。カタカナ、簡単な漢字を使って文を書くことができる。	体験したことを二、三語文で伝えようとする。印象に残ったことから伝えるため、経験した順序が伝わらないことも多い。伝わりにくいと、すぐ諦めて話すのをやめてしまうことがある。
D 児 3 年	声に出して、書かれた本を読み、粗筋をつかんでお話を楽しむことができるようになってきている。	平がなやカタカナを使って、二語文程度は一人で書けるようになってきている。	体験したことを二、三語文で伝えようとする。印象に残ったことから伝えるため、経験した順序など伝わらないことが多い。
E 児 3 年	自分で粗筋を大体つかむことができる。はっきりした言葉で抑揚を入れて台詞を表現することができる。	体験したことについて、大まかな順番に沿って書くことができる。「たのしかった」「おもしろかった」等の気持ちも、付け加えられるようになってきた。1年生の漢字を使って書くことができる。	経験したことを伝えようとする。しかし、いつのことなのか等、細かい部分が伝えられず、順序がはっきり伝わらないこともある。質問されたことにも答えられないこともある。
F 児 4 年	自分で本を選び 絵を見て楽しんでる。何回も読むと、粗筋をつかむことができる。	簡単な二～多語文程度を一人で書くことに慣れてきている。	大勢の中や知らない人の前では、緊張して話せなくなってしまうこともある。親しい友だちに対しては、思ったことを的確に言うことができる。経験した順序がはっきり伝わらないことが多い。
G 児 4 年	粗筋をつかみ、お話を楽しむことができる。繰り返しの台詞を覚えて、楽しく言おうとする。	簡単な二～多語文程度を一人で書くことに慣れてきている。習った一年生の漢字を使って書こうとする。	話しことばは豊富だが、興味があることを羅列的に話すことが多い。経験した順序がはっきり伝わらないことが多い。
H 児 4 年	粗筋をつかみ、お話を楽しむことができる。繰り返しの台詞を覚えて、気持ちを入れて読むことができる。	簡単な二～多語文程度を悩みながら一人で書いていくことが多い。習った一年生の漢字を使って書こうとする。	大人と話すことが好きだが、会話を続けることは難しい。質問されたことに答えることができないことがある。体験したことを二～多語文で伝えようとする。
I 児 5 年	粗筋をつかみ、お話を楽しむことができる。繰り返しの台詞を覚えて、気持ちを入れて読むことができる。	体験したことについて、大まかな順番に沿って書くことができる。「たのしかった」「おもしろかった！」などの気持ちも、書くことができる。二三年生の漢字を使って書く。	思いついたらすぐに話し出す。経験したことは、羅列的に話し、上手に伝えることが難しい。体験したことを二～多語文で伝えようとする。
J 児 6 年	ひろい読みの段階で、助詞をとばして読んだりすることが多い。何回も読むと、粗筋をつかむことができる。	助詞の使い方は不確かだが、平がなを使って二語文程度を書こうとする。単語を音声通りに書けないことがある。視写用の見本が必要。	話すことが好きで、印象に残っていることから話す。体験したことを二語文程度で伝えようとする。伝わりにくいと、すぐ諦めて話すのをやめてしまうことがある。

— 学習内容と指導・支援の考え方 —

(3) 学習内容と指導・支援の考え方

本題材の指導にあたっては、一人一人の実態に応じて、登場人物の数や言葉の量を考慮して、四つのパターンの「絵本」を用意する。

A児・B児には、単語を書き始めた段階の子ども用として、登場人物6つ、絵のみの絵本とする。C児・D児は、簡単な文を書き始めた段階の子ども用として、登場人物6つ、簡単な文を入れた絵本とする。F児・J児には、簡単な文を書く段階の子ども用として、登場人物11、簡単な文を入れた絵本とする。E児・G児・H児・I児には、自分で文を書く段階の子ども用として、登場人物11、会話をした絵本とする。

かまえる段階では、「ね、ぼくのともだちになって！」の紙芝居の読み聞かせでお話に出会い、絵ばなし活動への見通しを持たせる。そして、絵ばなし活動で取り扱う登場人物やものの挿し絵やペープサートの切り絵、ことばカードで手順を確認したり、「ね、ぼくのともだちになって！」の絵ばなしの表紙を作ったりする。そして、話の大筋をつかませる。

ふかめる段階では、①パネルシアターで登場人物や物に着目した、絵ばなし作りをさせる。②ペープサートで動きに着目した、絵ばなし作りをさせる。③劇で話の筋に着目した、絵ばなし作りをさせる。④お話の続き作りで自分なりの「次の日の話を作る」。というステップで活動を設定し、登場人物や出てくる物をつかませる。また、場面ごとに登場人物と物との関係をつかませる。能動的な活動を引き出すために、

A児は、自分の好きな動物の場面の中に、登場人物やものの切り絵を貼りながら、事物名称語を押さえる。

B児は、自分の好きな動物の場面で、登場人物やものの名前や動きのことばを押さえる。

C・D・F・J児は、自分の好きな動物の場面で、登場人物やものの名前や動きのことばを押さえ、文を書かせる。また、C・J児については、ヒントカードを見ながら、助詞に気を付けさせる。

E・G・H・I児は、筋にそったお話の順序で、つなぎ言葉カードを使って順序を押さえ、会話をした文を書かせる。そうすることで豊かな表現をさせていく。子どもが口にした表現が、文に書き表せない時は、教師の方で補足する。

まとめの段階では、自分が作った絵ばなしノートをまとめ、「おはなし絵本」作りをして、友だちに発表・表現する。

3 目標

- 自分なりに、挿し絵を読んだり、挿し絵とことばをつないだり、話の筋に沿ったりしながら、読み進めることができる。
- ◎ 絵ばなしをもとに、自分の伝えたいことを挿し絵や一語文、二語文、文をつないで伝えようとするができる。

4 学習計画 (○組全9時間 ◇組全17時間)

段階	時間	主な学習活動と内容	指導上の留意点 (※伝え合う力を育てる支援)
か ま え る (○ 組)	1 / 9	1 本時のめあてを確認する。	
		低・高の活動	
		「ね、ぼくのともだちになって！」の紙芝居を見よう。	
	17 (◇ 組)	2 「ね、ぼくのともだちになって！」の紙芝居を見る。 3 「ね、ぼくのともだちになって」表紙の色ぬりをする。 4 本時の学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ○ 本時学習を振り返り、お互い見合う。	※ 教師の読み聞かせをもとに、登場人物や話の大まかな筋をつかませる。 ○ 表紙の色ぬりをすることで、お話に興味を持たせる。 ○ 次時から、絵ばなし活動をする事知らせる。
ふ か め る (○ 組)	1 / 9	1 本時のめあてを確認する。	
	2 ・ 3	パネルシアターの切り絵を貼って、「ね、ぼくのともだちになって！」の絵ばなしをしよう。	
	17 (◇ 組)	2 絵ばなし活動をする。 ○ パネルシアターの切り絵を操作して、ことばや動作で表現する。 ○ 読み取ったことや考えたことなどを挿し絵、単語や文章でノートにまとめる。	※ 登場人物やものを取り出し、物語の絵に対応させて切り絵を貼らせる。 ※ 各自の絵本を見て、絵ばなしをさせる。または教師と○一緒に切り絵を操作させる。 ※ 登場人物や物の事物名称語に着目し、各自の実態に応じて、ノートにまとめさせる。
	3	3 本時の学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ○ 本時学習を振り返り、まとめたところまでをお互い見合う。	※ 各自できた絵ばなしを発表させ、賞賛する。
	4 ・ 5	1 本時のめあてを確認する。	
	6 / 9	ペープサートの切り絵を動かして、「ね、ぼくのともだちになって！」の絵ばなしをしよう。	
	2	2 絵ばなし活動をする。 ○ ペープサートの切り絵を操作して、ことばや動作で表現する。	※ 物語の場面の動きや変化をとらえさせ、切り絵を動かさせる。 ※ 各自の絵本を見て、絵ばなしをさせる。または教師と一緒に切り絵を操作させる。

(○組) 4 く 9 / 17 (◇組)	○ 読みとったことや考えたことなどを挿し絵、単語や文章でノートにまとめる。	※ 動きのことばに着目し、各自の実態に応じて、ノートにまとめさせる。 ○ 操作したことを忘れた時は、自分のミニチュアのペープサートを動かして思い出させる。 ○ 単語や助詞で間違いやすい時は、ヒントカードで確認して、単語や文を書かせる。 ○ つなぎことばカードで、順序をおさえさせる。
	3 本時の学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ○ 本時学習を振り返り、まとめたところまでをお互い見合う。	※ 各自できた絵ばなしを発表させ、それぞれの表現のよさを取り上げ、賞賛する。
7	1 本時のめあてを確認する。	
8	劇をして、「ね、ぼくのともだちになって！」の絵ばなしをしよう。	
ふ か め る (○組) 10 ・ 11 / 17 (◇組)	2 絵ばなし活動をする。 ○ 劇をして、ことばや動作で表現する。 ○ 読み取ったことや考えたことなどを挿し絵、単語や文章でノートにまとめる。	※ 各自の絵ばなしの劇をさせる。 ※ 話の筋に着目して、絵ばなしを作らせる。 ○ ふきだしを使って、会話文を書かせる。
	3 本時の学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ○ 本時学習を振り返り、まとめたところまでをお互い見合う。	※ 各自できた絵ばなしを発表させ、それぞれの表現のよさを取り上げ、賞賛する。
高のみの活動		
12	1 本時のめあてを確認する。	
13	パネルシアターの切り絵を貼って、「つぎの日」の絵ばなしをしよう。	
(◇組)	2 絵ばなし活動をする。 ○ パネルシアターの切り絵を操作して、ことばや動作で表現する。 ○ 読み取ったことや考えたことなどを文章でノートにまとめる。	○ 好きな動物の場面をいくつか選ばせる。 ※ 登場人物や物の事物名称語に着目し、各自の実態に応じて、ノートにまとめさせる。

	<p>3 本時の学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ○ 本時学習を振り返り、まとめたところまでをお互い見合う。</p>	<p>※ 各自できた絵ばなしを発表させ、それぞれの表現のよさを取り上げ賞賛する。</p>
	<p>1 本時のめあてを確認する。</p>	
	<p>ペープサート切り絵を動かして、「つぎの日」の絵ばなしをしよう。</p>	
<p>14 ・ 15 本時 ・ 16 / 17 (◇ 組)</p>	<p>2 絵ばなし活動をする。 ○ パネルシアターの切り絵を操作して、ことばや動作で表現する。 ○ 読み取ったことや考えたことなどを文章でノートにまとめる。</p>	<p>※ 物語の場面の動きや変化をとらえさせ、切り絵を動かさせる。 ※ 各自の絵本を見て、絵ばなしをさせる。または、教師と○緒に切り絵を操作させる。 ※ 動きのことばに着目し、各自の実態に応じて、ノートにまとめさせる。 ○ 操作したことを忘れた時は、自分のミニチュアのペープサートを動かして思い出させる。 ○ 助詞で間違いやすい時は、ヒントカードで確認して、文を書かせる。 ○ つなぎことばカードで、順序をおさえさせる。</p>
	<p>3 本時の学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ○ 本時学習を振り返り、まとめたところまでをお互い見合う。</p>	<p>※ 各自できた絵ばなしを発表させ、それぞれの表現のよさを取り上げ、賞賛する。</p>
<p>9 / 9 (○ 組) ま と め る 17 / 17 (◇ 組)</p>	<p>低・高の活動</p>	
	<p>1 本時のめあてを確認する。</p>	
	<p>「ね、ぼくのともだちになって！」の発表会をしよう。</p>	
	<p>2 各自、絵ばなし活動の発表をする。 ○ 各自の「おはなし絵本」を発表する。 3 「ね、ぼくのともだちになって！」の学習を振り返る。</p>	<p>※ 各自、今まで書いた絵ばなしノートをまとめたお話絵本の発表をさせる。 ※ それぞれの表現のよさを取り上げ、賞賛する。</p>

5 本時 5 / 9

6 本時の目標

- 登場人物やものの切り絵を操作しながら、動きの言葉に着目して絵ばなしにまとめることができる。
- ◎ 絵ばなしをもとに、自分の伝えたいことを挿し絵や一語文、二～三語文で伝えようとするすることができる。

個別の目標

児童	目 標
A児	○ 教師の指さしや問いかけをたよりに、教師と一緒に切り絵を操作しながら、登場人物やものの名前に着目して絵ばなし活動をする。
B児	○ 教師の指さしや問いかけをたよりに、教師と一緒に切り絵を操作しながら、動きの言葉に着目して絵ばなし活動をする。
C児 D児	○ 自分で好きな動物を選び、切り絵を操作しながら、助詞に気を付けて、動きの言葉に着目して絵ばなし活動をする。

7 本時学習を進めるにあたって

子ども達は、前時までに、「ね、ぼくのともだちになって！」の絵ばなしに出会い、パネルシアターやペープサートを用いて、絵ばなし活動をすることに興味を持ち、楽しんでいる。

そこで本時では、再度ペープサートのきり絵を操作し、動きを確認して場面絵とことば（事物名称語、動きのことば）を対応させながら、一人一人の実態に応じて絵ばなしノートに書きまとめていくことができるようにしていきたい。

導入では、前時でペープサートの切り絵を動かしたことを思い出し、読み取ったことやことば（事物名称語、動きのことば）を想起する。


次に、ペープサートの切り絵を動かし、ことばや動作で一人一人に応じた表現活動ができるようにしていく。各自、動きを自分の絵本で確認しながら、ペープサートの切り絵を操作する。この時、ことばだけでは伝えにくかったり、細かい動きで分かりにくかったりする時は、体全体で動作化しながらことばとつないで表現できるようにする。また、子どもに応じて教師の問いかけやミニチュアペープサートの補足なども加えながら表現活動を促していく。

ノート作りでは、一人一人の実態に応じて、ノートを準備する。A児は、好きな動物の場面を選び、登場人物やものの絵を貼り、その名前を言ったり、簡単なひらがなはなぞり書きしてまとめさせたい。B児は、好きな動物の場面を選び、事物名称語、動きのことばを書いてまとめさせたい。C児・D児は、好きな動物の場面を選び、助詞に気を付けて、二～三語文でまとめさせたい。


そして、本時学習を振り返る場面では、それぞれが作り上げた絵ばなしノートを発表することで、満足感や充足感を味わわせるとともに、次時の活動への期待感としてまとめたい。

8 板書計画


きょうのがくしゅうて




たたくさん
おはなしが
できました。



どうぶつ
したことを
えはなしに
できました。




は
を
が
に
を
つかって、
ながいぶんが
かけました。




は
を
が
に
に
きをつけて、
ぶんをかくこと
が
できました。

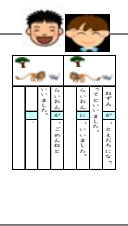
がくしゅうのすすめかた

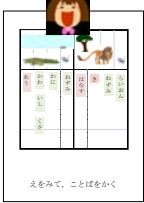


1
とりだす

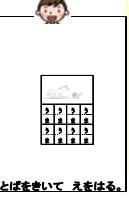


2
うごかす






えをみて、ことばをかく

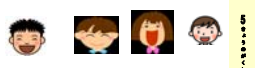


ことばをきいて えをはる。

3
まとめる

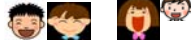


4
まわらうする



5
めあて

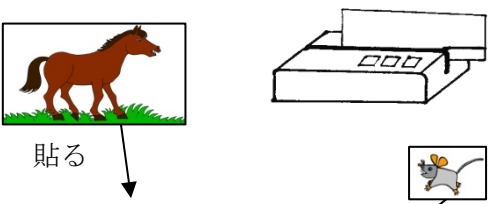
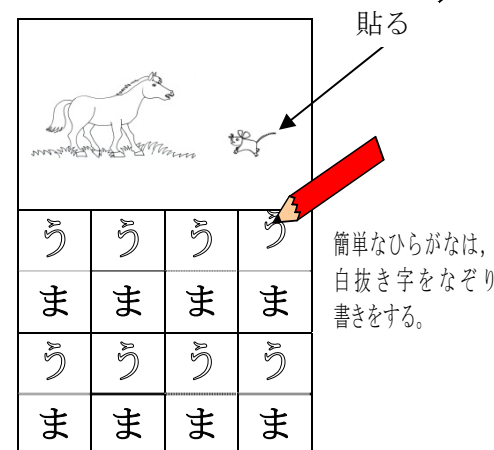
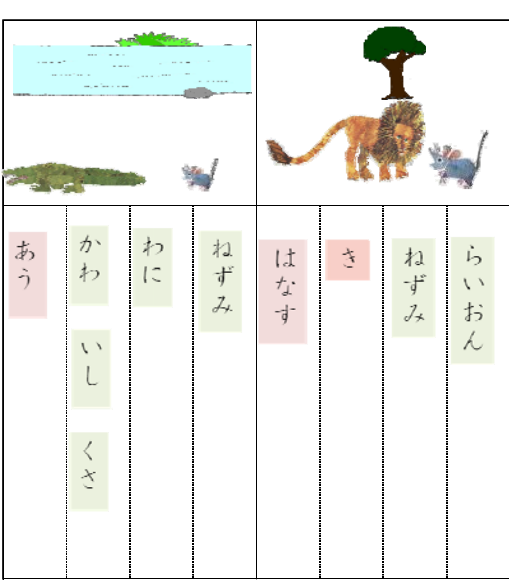
めあて
ペーパーサートで えはなしをしよう

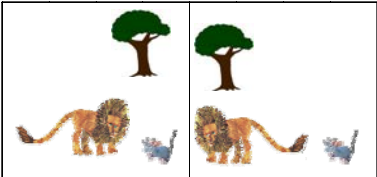


だれが どんなことをしたか

「が」「は」「を」「に」にきをつけて

9 本時の展開

配時	主な学習活動と内容			
8	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (1) 前時を想起する。 ・切り絵を操作して、絵ばなし活動をしたこと (2) 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> ペープサートの切り絵を動かして、絵ばなしをしよう。 </div>			
10	2 絵ばなし活動をする。 (1) ペープサートを操作して、ことばや動作で表現する <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">A児</td> <td style="width: 50%;">B児</td> </tr> </table> 登場人物の名前，くりかえしのことばを使いながら，動作を交えて表現する。 (2) 読みとったことを，挿し絵や単語，文章でまとめる。		A児	B児
A児	B児			
18	① 好きな場面の絵を取り出す。 ② 場面のことばをランゲージパルで聞き，お話をしながらノートに絵を貼り書き表す。 <div style="text-align: center;">  <p>貼る</p>  <p>貼る</p> <p>簡単なひらがなは、白抜き字をなぞり書きをする。</p> </div> ③ まとめたノートを読んで見直す。	① 好きな場面の絵を取り出す。 ② 切り絵を動かしたことを思い出し，登場人物やものの単語，動きの言葉を書いてノートにまとめる。 <div style="text-align: center;">  </div> ③ まとめたノートを読んで見直す。		
7	3. 本時学習を振り返り，次時の見通しを持つ。 (1) 本時学習を振り返る。 ・できたところまでをお互い見合う。 (2) 次時について知る。 ・劇をすることを楽しみに待つ。			

主な学習活動と内容	指導上の留意点（※伝え合う力を育てる支援）																																																																																																
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までに作った場面図を提示する。 ○ 登場人物やものの名前と動作語を確認する。 ○ ペープサートの場と手順を提示して、活動の見通しを持たせる。 																																																																																																
C・D児	○ A・B児：教師の指さしや問いかけをたよりに、教師と一緒に体を大きく動かし、切り絵を操作させる。																																																																																																
登場人物の名前やものの名称、会話のことばを使いながら、動作を交えて簡単な文で表現する。	○ C・D児：自分の絵ばなしを見せながら切り絵を操作させる。ゆっくり、音声化させる。																																																																																																
<p>① 好きな場面の絵を取り出す。</p> <p>② 切り絵を動かしたことを思い出し、助詞を入れた二～三語文でノートにまとめる</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20px;">ま</td> <td style="width: 20px;">ね</td> <td style="width: 20px;">い</td> <td style="width: 20px;">ら</td> <td style="width: 20px;">て</td> <td style="width: 20px;">ね</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ま</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ね</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">い</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ら</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">て</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ね</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">し</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ず</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ま</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">い</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">い</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ず</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">た</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">み</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">し</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">お</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ま</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">み</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">は</td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ん</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">し</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">が</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">、</td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">が</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">た</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">、</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">が</td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">、</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">と</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">と</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">っ</td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ご</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">も</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">も</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">か</td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">め</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">だ</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">だ</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">り</td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ん</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ち</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ち</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">し</td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ね</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">に</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">に</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">と</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">な</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">な</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">と</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">っ</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">っ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ま</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">た</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">た</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">し</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ま</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">ま</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">た</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">し</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">し</td> </tr> </table> <p>③ 書きまとめたノートを読んで見直す。</p>	ま	ね	い	ら	て	ね	ま	ね	い	ら	て	ね	し	ず	ま	い	い	ず	た	み	し	お	ま	み		は		ん	し	が		、		が	た	、		が		、	と	と		っ		ご	も	も		か		め	だ	だ		り		ん	ち	ち		し		ね	に	に				と	な	な				と	っ	っ				ま	た	た				し	ま	ま				た	し	し	<p>※ 操作したことを忘れた時は、自分のミニチュアのペープサートを動かして思い出させ、絵ばなしノートにまとめさせる。</p> <p>※ A児：場面の絵を貼った後、その場面のお話をさせる。場面に出てくる動物の名前は、自分で書くことができるように、プリントに簡単なひらがなを白抜き文字にしておく。</p> <p>※ B児：一人で書けない文字・単語については、ヒントカードの中から選ばせ、見ながら書かせる。</p> <p>※ C・D児：前々時に書いた単語カードをもとに、文を作らせる。助詞が間違っている時は、一緒に読み間違いに気づかせ、文ヒントカードで確認し訂正する。</p> <p>○ 書いたものを読み直し、間違いに気づかせたり、付け加えさせたりする。</p>
ま	ね	い	ら	て	ね																																																																																												
ま	ね	い	ら	て	ね																																																																																												
し	ず	ま	い	い	ず																																																																																												
た	み	し	お	ま	み																																																																																												
	は		ん	し	が																																																																																												
	、		が	た	、																																																																																												
	が		、	と	と																																																																																												
	っ		ご	も	も																																																																																												
	か		め	だ	だ																																																																																												
	り		ん	ち	ち																																																																																												
	し		ね	に	に																																																																																												
			と	な	な																																																																																												
			と	っ	っ																																																																																												
			ま	た	た																																																																																												
			し	ま	ま																																																																																												
			た	し	し																																																																																												
	<p>※ 各自のできた絵ばなしを賞賛し、それぞれの表現のよさに気付かせる。</p> <p>○ 次時も、ペープサートを確認する。</p>																																																																																																

5 本時 15 / 17

6 本時の目標

- ペーパーサートの切り絵を操作することで、お話の続き（「つぎの日の話」）を絵ばなしにまとめることができる。
- ◎ 絵ばなしをもとに、自分の伝えたいことを二語文～多語文をつないで伝えようとするができる。

個別の目標

児童	目 標
F 児	○ 好きな動物の場面を選び、切り絵を操作しながら、「だれが」「だれと」「どんなことをしたか」の動きの言葉に着目して絵ばなし活動をする。
E 児 G 児 H 児 I 児	○ 好きな動物の場面を選び、切り絵を操作しながら、したことや会話したことに着目し、自分が考えたことを、順序よく、詳しく表現して絵ばなし活動をする。
J 児	○ 好きな動物の場面を選び、切り絵を操作しながら、助詞に気を付けて、「だれが」「だれと」「どんなことをしたか」の動きの言葉に着目して、絵ばなし活動をする。

7 本時学習を進めるにあたって

子ども達は、前時まで、「ね、ぼくのともだちになって！」の絵ばなしに出会い、パネルシアターやペーパーサート、劇を通して、絵ばなし活動をすることに興味を持ち楽しんだ。そして、前々時は、「次の日のお話作り」にとりかかるとともに、自分のお話作りに必要な場面をいくつか選び、その場面のパネルシアターで、登場人物や物に着目して、絵ばなしを作った。

そこで本時は、前時に引き続き「次の日のお話づくり」のペーパーサートの場を見て、自分が選んだペーパーサートの切り絵を操作し、ことばや動作で豊かに表現させ、場面絵とことばを対応させながら、個々の子どもに応じて書きまとめていくことができるようにしたい。ことばや動作で一人一人に応じた表現活動ができるようにしていく。この時、ことばだけでは伝えにくかったり、細かい動きで分かりにくい時は、体全体で動作化しながらことばとつないで表現できるようにする。また、子どもに応じて教師の問いかけやミニチュアペーパーサートの補足なども加えながら表現活動を促していく。

絵ばなしのノート作りでは、各自の実態に応じてノートが作成しやすいようにしておく。その後、一人一人ノートに文でまとめさせたい。F 児は、「だれが」「だれと」「どんなことをしたか」に着目して、二語文でまとめさせたい。E 児・G 児・H 児・I 児は、「 」や句読点の記述の仕方を押さえ、自分で話の筋にそって絵をつなぎ、つなぎの言葉、会話文を入れた文でまとめさせたい。J 児は、助詞に気を付けて、「だれが」「だれと」「どんなことをしたか」に着目して、二語文程度でまとめさせたい。

そして、本時学習を振り返る場面では、それぞれが作り上げた絵本を発表することで、満足感や充足感を味わわせるとともに、次時の活動への期待感としてまとめたい。

8 板書計画

めあて
ペーパークラフトのきりえをうごかして
「つぎの日」のえばなしをしよう。

だれが いろんなことをしたかを かんがえて。
 じゅんじょよく
 かいわ文「や
 つなぎことばをいれて。
 に
 をにきをつけて

がくしゅうのすすめかた
 1 えばなしをする。
 2 ことばや 文でかく。
 3 かいわ文を みなおす。
 4 じぶんの えばなしを はっぴようする。
 5 「きようのがくしゅう」をふりかえる。

つぎの日、ねずみは、
 にあいました。

ね、ぼくのと
もだちにな
つて


いいよ。い
つしよに
あそぼう。


いいよ。せ
中のつ
てみない。


はじめに、**ねずみ**は、**うま**
を見つけていました。
**「ね、ぼくのともだちにな
つて。」**
 きようのがくしゅうで

ライオンは、「**いいよ。
いつしよにあそぼう。」**
とこたえました。

きりんは、「**いいよ。せ
中のつてみない。」**とこた
えました。

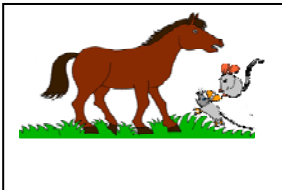
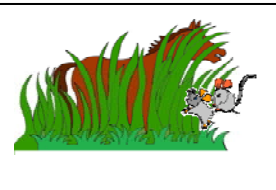
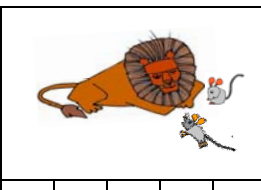
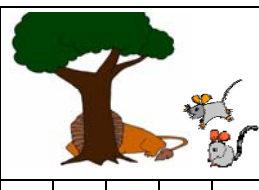
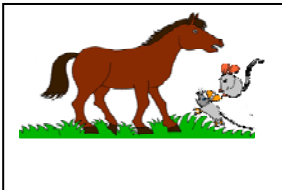
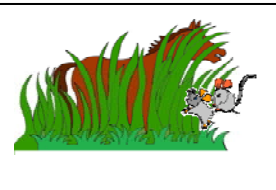
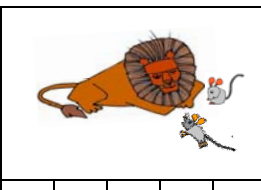
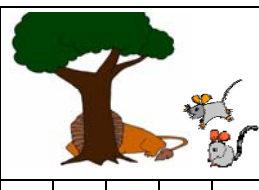
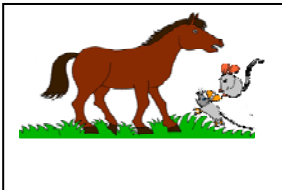
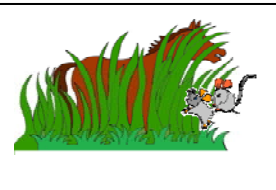
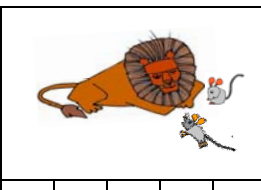
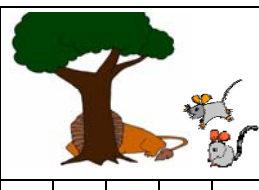
かいわ文をた
くさんかんが
えられた。
 

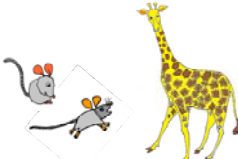

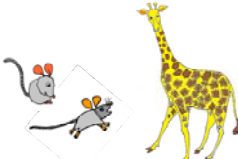

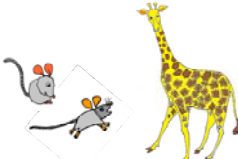

じゅんじょよ
く かんがえ
られた。
 

にや**を**に、
きをつけて
できた。


えばなしが、
たくさんでき
て、うれしい。


9 本時の展開

配時	主な学習活動と内容																																																																																																																																																																																																					
8	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 (1) 前時を想起する。 ・切り絵を操作して、絵ばなし活動をしたこと (2) 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ペープサートの切り絵を動かして、「つぎの日」の絵ばなしをしよう。 </div>																																																																																																																																																																																																					
10	2 絵ばなし活動をする。 (1) ペープサートを操作して、ことばや動作で表現する。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">F 児</td> <td style="width: 50%;">E・G・H・I 児</td> </tr> <tr> <td>登場人物が、どんなことをしたかを考えながら、切り絵を動かし、ことばや動作で表現する。</td> <td>登場人物が、会話したことを考えながら、切り絵を動かし、ことばや動作で表現する。</td> </tr> </table>		F 児	E・G・H・I 児	登場人物が、どんなことをしたかを考えながら、切り絵を動かし、ことばや動作で表現する。	登場人物が、会話したことを考えながら、切り絵を動かし、ことばや動作で表現する。																																																																																																																																																																																																
F 児	E・G・H・I 児																																																																																																																																																																																																					
登場人物が、どんなことをしたかを考えながら、切り絵を動かし、ことばや動作で表現する。	登場人物が、会話したことを考えながら、切り絵を動かし、ことばや動作で表現する。																																																																																																																																																																																																					
20	(2) 読み取ったことを、単語や文章でまとめる。 切り絵を動かしたことを思い出し、絵を取り出し、二～三語文、多語文でノートにまとめる。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">  </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>いいよ。いっしょにあそぼう。</td></tr> <tr><td>うまは、こたえました。</td></tr> <tr><td>ね、ともだちになって。</td></tr> <tr><td>ねずみは、いいました。</td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>うまは、ねずみにきがきました。</td></tr> <tr><td>うまは、草をたべていました。</td></tr> <tr><td>うまは、草むらの中にいました。</td></tr> <tr><td>ねずみは、うまを見つけました。</td></tr> </table> </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">  </td> <td style="width: 50%; text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>ラ</td><td>え</td><td>に</td><td>ー</td><td>ま</td><td>ち</td><td>ー</td><td>る</td><td>が</td><td>は</td></tr> <tr><td>イ</td><td>ま</td><td>あ</td><td>い</td><td>し</td><td>に</td><td>ね</td><td>の</td><td>、</td><td>じ</td></tr> <tr><td>オ</td><td>し</td><td>そ</td><td>い</td><td>た</td><td>な</td><td>、</td><td>を</td><td>木</td><td>め</td></tr> <tr><td>ン</td><td>た</td><td>ぼ</td><td>よ</td><td>。</td><td>っ</td><td>ぼ</td><td>見</td><td>か</td><td>に</td></tr> <tr><td>は</td><td>。</td><td>う</td><td>。</td><td>ラ</td><td>て</td><td>く</td><td>っ</td><td>げ</td><td>、</td></tr> <tr><td>、</td><td>ね</td><td>ー</td><td>い</td><td>イ</td><td>ー</td><td>の</td><td>け</td><td>で</td><td>ラ</td></tr> <tr><td>な</td><td>ず</td><td>と</td><td>っ</td><td>オ</td><td>と</td><td>と</td><td>ま</td><td>ね</td><td>イ</td></tr> <tr><td>か</td><td>み</td><td>こ</td><td>し</td><td>ン</td><td>い</td><td>も</td><td>し</td><td>て</td><td>オ</td></tr> <tr><td>よ</td><td>と</td><td>た</td><td>よ</td><td>は</td><td>い</td><td>だ</td><td>た</td><td>い</td><td>ン</td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>ラ</td><td>え</td><td>に</td><td>ー</td><td>ま</td><td>ち</td><td>ー</td><td>る</td><td>が</td><td>は</td></tr> <tr><td>イ</td><td>ま</td><td>あ</td><td>い</td><td>し</td><td>に</td><td>ね</td><td>の</td><td>、</td><td>じ</td></tr> <tr><td>オ</td><td>し</td><td>そ</td><td>い</td><td>た</td><td>な</td><td>、</td><td>を</td><td>木</td><td>め</td></tr> <tr><td>ン</td><td>た</td><td>ぼ</td><td>よ</td><td>。</td><td>っ</td><td>ぼ</td><td>見</td><td>か</td><td>に</td></tr> <tr><td>は</td><td>。</td><td>う</td><td>。</td><td>ラ</td><td>て</td><td>く</td><td>っ</td><td>げ</td><td>、</td></tr> <tr><td>、</td><td>ね</td><td>ー</td><td>い</td><td>イ</td><td>ー</td><td>の</td><td>け</td><td>で</td><td>ラ</td></tr> <tr><td>な</td><td>ず</td><td>と</td><td>っ</td><td>オ</td><td>と</td><td>と</td><td>ま</td><td>ね</td><td>イ</td></tr> <tr><td>か</td><td>み</td><td>こ</td><td>し</td><td>ン</td><td>い</td><td>も</td><td>し</td><td>て</td><td>オ</td></tr> <tr><td>よ</td><td>と</td><td>た</td><td>よ</td><td>は</td><td>い</td><td>だ</td><td>た</td><td>い</td><td>ン</td></tr> </table> </td> </tr> </table>				<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>いいよ。いっしょにあそぼう。</td></tr> <tr><td>うまは、こたえました。</td></tr> <tr><td>ね、ともだちになって。</td></tr> <tr><td>ねずみは、いいました。</td></tr> </table>	いいよ。いっしょにあそぼう。	うまは、こたえました。	ね、ともだちになって。	ねずみは、いいました。	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>うまは、ねずみにきがきました。</td></tr> <tr><td>うまは、草をたべていました。</td></tr> <tr><td>うまは、草むらの中にいました。</td></tr> <tr><td>ねずみは、うまを見つけました。</td></tr> </table>	うまは、ねずみにきがきました。	うまは、草をたべていました。	うまは、草むらの中にいました。	ねずみは、うまを見つけました。			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>ラ</td><td>え</td><td>に</td><td>ー</td><td>ま</td><td>ち</td><td>ー</td><td>る</td><td>が</td><td>は</td></tr> <tr><td>イ</td><td>ま</td><td>あ</td><td>い</td><td>し</td><td>に</td><td>ね</td><td>の</td><td>、</td><td>じ</td></tr> <tr><td>オ</td><td>し</td><td>そ</td><td>い</td><td>た</td><td>な</td><td>、</td><td>を</td><td>木</td><td>め</td></tr> <tr><td>ン</td><td>た</td><td>ぼ</td><td>よ</td><td>。</td><td>っ</td><td>ぼ</td><td>見</td><td>か</td><td>に</td></tr> <tr><td>は</td><td>。</td><td>う</td><td>。</td><td>ラ</td><td>て</td><td>く</td><td>っ</td><td>げ</td><td>、</td></tr> <tr><td>、</td><td>ね</td><td>ー</td><td>い</td><td>イ</td><td>ー</td><td>の</td><td>け</td><td>で</td><td>ラ</td></tr> <tr><td>な</td><td>ず</td><td>と</td><td>っ</td><td>オ</td><td>と</td><td>と</td><td>ま</td><td>ね</td><td>イ</td></tr> <tr><td>か</td><td>み</td><td>こ</td><td>し</td><td>ン</td><td>い</td><td>も</td><td>し</td><td>て</td><td>オ</td></tr> <tr><td>よ</td><td>と</td><td>た</td><td>よ</td><td>は</td><td>い</td><td>だ</td><td>た</td><td>い</td><td>ン</td></tr> </table>	ラ	え	に	ー	ま	ち	ー	る	が	は	イ	ま	あ	い	し	に	ね	の	、	じ	オ	し	そ	い	た	な	、	を	木	め	ン	た	ぼ	よ	。	っ	ぼ	見	か	に	は	。	う	。	ラ	て	く	っ	げ	、	、	ね	ー	い	イ	ー	の	け	で	ラ	な	ず	と	っ	オ	と	と	ま	ね	イ	か	み	こ	し	ン	い	も	し	て	オ	よ	と	た	よ	は	い	だ	た	い	ン	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>ラ</td><td>え</td><td>に</td><td>ー</td><td>ま</td><td>ち</td><td>ー</td><td>る</td><td>が</td><td>は</td></tr> <tr><td>イ</td><td>ま</td><td>あ</td><td>い</td><td>し</td><td>に</td><td>ね</td><td>の</td><td>、</td><td>じ</td></tr> <tr><td>オ</td><td>し</td><td>そ</td><td>い</td><td>た</td><td>な</td><td>、</td><td>を</td><td>木</td><td>め</td></tr> <tr><td>ン</td><td>た</td><td>ぼ</td><td>よ</td><td>。</td><td>っ</td><td>ぼ</td><td>見</td><td>か</td><td>に</td></tr> <tr><td>は</td><td>。</td><td>う</td><td>。</td><td>ラ</td><td>て</td><td>く</td><td>っ</td><td>げ</td><td>、</td></tr> <tr><td>、</td><td>ね</td><td>ー</td><td>い</td><td>イ</td><td>ー</td><td>の</td><td>け</td><td>で</td><td>ラ</td></tr> <tr><td>な</td><td>ず</td><td>と</td><td>っ</td><td>オ</td><td>と</td><td>と</td><td>ま</td><td>ね</td><td>イ</td></tr> <tr><td>か</td><td>み</td><td>こ</td><td>し</td><td>ン</td><td>い</td><td>も</td><td>し</td><td>て</td><td>オ</td></tr> <tr><td>よ</td><td>と</td><td>た</td><td>よ</td><td>は</td><td>い</td><td>だ</td><td>た</td><td>い</td><td>ン</td></tr> </table>	ラ	え	に	ー	ま	ち	ー	る	が	は	イ	ま	あ	い	し	に	ね	の	、	じ	オ	し	そ	い	た	な	、	を	木	め	ン	た	ぼ	よ	。	っ	ぼ	見	か	に	は	。	う	。	ラ	て	く	っ	げ	、	、	ね	ー	い	イ	ー	の	け	で	ラ	な	ず	と	っ	オ	と	と	ま	ね	イ	か	み	こ	し	ン	い	も	し	て	オ	よ	と	た	よ	は	い	だ	た	い	ン
																																																																																																																																																																																																						
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>いいよ。いっしょにあそぼう。</td></tr> <tr><td>うまは、こたえました。</td></tr> <tr><td>ね、ともだちになって。</td></tr> <tr><td>ねずみは、いいました。</td></tr> </table>	いいよ。いっしょにあそぼう。	うまは、こたえました。	ね、ともだちになって。	ねずみは、いいました。	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>うまは、ねずみにきがきました。</td></tr> <tr><td>うまは、草をたべていました。</td></tr> <tr><td>うまは、草むらの中にいました。</td></tr> <tr><td>ねずみは、うまを見つけました。</td></tr> </table>	うまは、ねずみにきがきました。	うまは、草をたべていました。	うまは、草むらの中にいました。	ねずみは、うまを見つけました。																																																																																																																																																																																													
いいよ。いっしょにあそぼう。																																																																																																																																																																																																						
うまは、こたえました。																																																																																																																																																																																																						
ね、ともだちになって。																																																																																																																																																																																																						
ねずみは、いいました。																																																																																																																																																																																																						
うまは、ねずみにきがきました。																																																																																																																																																																																																						
うまは、草をたべていました。																																																																																																																																																																																																						
うまは、草むらの中にいました。																																																																																																																																																																																																						
ねずみは、うまを見つけました。																																																																																																																																																																																																						
																																																																																																																																																																																																						
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>ラ</td><td>え</td><td>に</td><td>ー</td><td>ま</td><td>ち</td><td>ー</td><td>る</td><td>が</td><td>は</td></tr> <tr><td>イ</td><td>ま</td><td>あ</td><td>い</td><td>し</td><td>に</td><td>ね</td><td>の</td><td>、</td><td>じ</td></tr> <tr><td>オ</td><td>し</td><td>そ</td><td>い</td><td>た</td><td>な</td><td>、</td><td>を</td><td>木</td><td>め</td></tr> <tr><td>ン</td><td>た</td><td>ぼ</td><td>よ</td><td>。</td><td>っ</td><td>ぼ</td><td>見</td><td>か</td><td>に</td></tr> <tr><td>は</td><td>。</td><td>う</td><td>。</td><td>ラ</td><td>て</td><td>く</td><td>っ</td><td>げ</td><td>、</td></tr> <tr><td>、</td><td>ね</td><td>ー</td><td>い</td><td>イ</td><td>ー</td><td>の</td><td>け</td><td>で</td><td>ラ</td></tr> <tr><td>な</td><td>ず</td><td>と</td><td>っ</td><td>オ</td><td>と</td><td>と</td><td>ま</td><td>ね</td><td>イ</td></tr> <tr><td>か</td><td>み</td><td>こ</td><td>し</td><td>ン</td><td>い</td><td>も</td><td>し</td><td>て</td><td>オ</td></tr> <tr><td>よ</td><td>と</td><td>た</td><td>よ</td><td>は</td><td>い</td><td>だ</td><td>た</td><td>い</td><td>ン</td></tr> </table>	ラ	え	に	ー	ま	ち	ー	る	が	は	イ	ま	あ	い	し	に	ね	の	、	じ	オ	し	そ	い	た	な	、	を	木	め	ン	た	ぼ	よ	。	っ	ぼ	見	か	に	は	。	う	。	ラ	て	く	っ	げ	、	、	ね	ー	い	イ	ー	の	け	で	ラ	な	ず	と	っ	オ	と	と	ま	ね	イ	か	み	こ	し	ン	い	も	し	て	オ	よ	と	た	よ	は	い	だ	た	い	ン	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><td>ラ</td><td>え</td><td>に</td><td>ー</td><td>ま</td><td>ち</td><td>ー</td><td>る</td><td>が</td><td>は</td></tr> <tr><td>イ</td><td>ま</td><td>あ</td><td>い</td><td>し</td><td>に</td><td>ね</td><td>の</td><td>、</td><td>じ</td></tr> <tr><td>オ</td><td>し</td><td>そ</td><td>い</td><td>た</td><td>な</td><td>、</td><td>を</td><td>木</td><td>め</td></tr> <tr><td>ン</td><td>た</td><td>ぼ</td><td>よ</td><td>。</td><td>っ</td><td>ぼ</td><td>見</td><td>か</td><td>に</td></tr> <tr><td>は</td><td>。</td><td>う</td><td>。</td><td>ラ</td><td>て</td><td>く</td><td>っ</td><td>げ</td><td>、</td></tr> <tr><td>、</td><td>ね</td><td>ー</td><td>い</td><td>イ</td><td>ー</td><td>の</td><td>け</td><td>で</td><td>ラ</td></tr> <tr><td>な</td><td>ず</td><td>と</td><td>っ</td><td>オ</td><td>と</td><td>と</td><td>ま</td><td>ね</td><td>イ</td></tr> <tr><td>か</td><td>み</td><td>こ</td><td>し</td><td>ン</td><td>い</td><td>も</td><td>し</td><td>て</td><td>オ</td></tr> <tr><td>よ</td><td>と</td><td>た</td><td>よ</td><td>は</td><td>い</td><td>だ</td><td>た</td><td>い</td><td>ン</td></tr> </table>	ラ	え	に	ー	ま	ち	ー	る	が	は	イ	ま	あ	い	し	に	ね	の	、	じ	オ	し	そ	い	た	な	、	を	木	め	ン	た	ぼ	よ	。	っ	ぼ	見	か	に	は	。	う	。	ラ	て	く	っ	げ	、	、	ね	ー	い	イ	ー	の	け	で	ラ	な	ず	と	っ	オ	と	と	ま	ね	イ	か	み	こ	し	ン	い	も	し	て	オ	よ	と	た	よ	は	い	だ	た	い	ン																	
ラ	え	に	ー	ま	ち	ー	る	が	は																																																																																																																																																																																													
イ	ま	あ	い	し	に	ね	の	、	じ																																																																																																																																																																																													
オ	し	そ	い	た	な	、	を	木	め																																																																																																																																																																																													
ン	た	ぼ	よ	。	っ	ぼ	見	か	に																																																																																																																																																																																													
は	。	う	。	ラ	て	く	っ	げ	、																																																																																																																																																																																													
、	ね	ー	い	イ	ー	の	け	で	ラ																																																																																																																																																																																													
な	ず	と	っ	オ	と	と	ま	ね	イ																																																																																																																																																																																													
か	み	こ	し	ン	い	も	し	て	オ																																																																																																																																																																																													
よ	と	た	よ	は	い	だ	た	い	ン																																																																																																																																																																																													
ラ	え	に	ー	ま	ち	ー	る	が	は																																																																																																																																																																																													
イ	ま	あ	い	し	に	ね	の	、	じ																																																																																																																																																																																													
オ	し	そ	い	た	な	、	を	木	め																																																																																																																																																																																													
ン	た	ぼ	よ	。	っ	ぼ	見	か	に																																																																																																																																																																																													
は	。	う	。	ラ	て	く	っ	げ	、																																																																																																																																																																																													
、	ね	ー	い	イ	ー	の	け	で	ラ																																																																																																																																																																																													
な	ず	と	っ	オ	と	と	ま	ね	イ																																																																																																																																																																																													
か	み	こ	し	ン	い	も	し	て	オ																																																																																																																																																																																													
よ	と	た	よ	は	い	だ	た	い	ン																																																																																																																																																																																													
7	(3) 書いた文を読んで見直す。 (4) 自分の絵ばなしを発表する。 ・できたところまでをお互い見合う。																																																																																																																																																																																																					
	3. 本時学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 (1) 本時学習を振り返る。 (2) 次時について知る。 ・さらに、お話の続きを考えることを楽しみに待つ。																																																																																																																																																																																																					

主な学習活動と内容	指導上の留意点（※伝え合う力を育てる支援）												
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までに作った場面図を提示する。 ○ 登場人物と動作語を確認する。 ○ ペープサートの場と手順を提示して、活動の見通しを持たせる。 												
	<ul style="list-style-type: none"> ○ E・G・H・I児：「 」や句読点の記述の仕方をおさえておく。 												
J 児	<ul style="list-style-type: none"> ○ F 児：登場人物や会話の様子がわからない時は、自分が選んだ挿し絵を見ながら切り絵を操作させ確認させる。 												
登場人物が、どんなことをしたかを考えながら、切り絵を動かし、ことばや動作で表現する。助詞に気を付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ○ E・G・H・I 児：自分が選んだ挿し絵を見ながら、話の筋を追い、切り絵を操作させる。登場人物が言った言葉を引き出させる言葉かけをする。 ○ J 児：教師の問いかけをたよりに、操作させる。ゆっくり、音声化させる。 												
切り絵を動かしたことを思い出し、絵を取り出し、助詞を入れた二語文程度でノートにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が考えたお話の順番が分かりやすいように、絵に順番通り番号を打たせておく。 												
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="148 1025 427 1216">  </td> <td colspan="2" data-bbox="432 1025 711 1216">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="148 1216 220 1709">いいよ。せ中にのせてあげようか。</td> <td data-bbox="220 1216 292 1709">うまは、こたえました。</td> <td data-bbox="292 1216 363 1709">ね、ともだちになつて。</td> <td data-bbox="363 1216 435 1709">ねずみは、いいました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="435 1216 507 1709">きりんは、ねずみにきがつかしました。</td> <td data-bbox="507 1216 579 1709">きりんは、木のみをたべていました。</td> <td data-bbox="579 1216 651 1709">きりんは、木のかげにいました。</td> <td data-bbox="651 1216 711 1709">ねずみは、きりんを見つけました。</td> </tr> </table>					いいよ。せ中にのせてあげようか。	うまは、こたえました。	ね、ともだちになつて。	ねずみは、いいました。	きりんは、ねずみにきがつかしました。	きりんは、木のみをたべていました。	きりんは、木のかげにいました。	ねずみは、きりんを見つけました。	<ul style="list-style-type: none"> ※ F 児：一つの場面をじっくり思い出すように言葉かけする。登場人物が、どんなことをしたか考えつかない時は、ミニチュアペープサートを動かして思い出させる。 ※ E・G・H・I 児：登場人物が言った言葉を引き出させる言葉かけをする。会話文は、「 」を使って表すことを指示する。話の筋が分からなくなった時は、パネルシアター用ノートをもとに、文をまとめさせる。つなぎの言葉をつなぎ言葉カードを使って、できるだけ使わせる。子どもが、口にした表現が、文に表れない場合は、教師が付け加える。 ※ J 児：ヒントカードをよく見て書くように促す。 ※ F 児：自分が、書いた文を読み直し、文が正しく書けているかどうか見直しをさせる。 ※ E・G・H・I 児：自分が、書いた文の「 」の記述が正しく書けているかどうか見直しをさせる。 ※ J 児：助詞が間違っている時は、一緒に読んで訂正させる。
													
いいよ。せ中にのせてあげようか。	うまは、こたえました。	ね、ともだちになつて。	ねずみは、いいました。										
きりんは、ねずみにきがつかしました。	きりんは、木のみをたべていました。	きりんは、木のかげにいました。	ねずみは、きりんを見つけました。										
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 友の絵ばなしのよさに気付かせる。 ○ 各自の頑張りを賞賛する。 												